

科目	単位	時間	履修学年	講師名
在宅看護援助論　Ⅰ	1	30	2	市場　美香
ねらい	在宅看護に必要な看護技術を学ぶ。			
回数	授業内容			授業方法
1 回目	1.療養者の日常生活を「生活行為」として総合的に捉える 必要な介助を見極めるための動作分析について考える コミュニケーションを学ぶ			講義 グループワーク
2 回目	1 回目の復習 事例を通して活動制限のアセスメントと生活行為への支援を考える			グループワーク 講義
3 回目	在宅看護における呼吸管理			講義・グループワーク
4 回目	食生活、嚥下に関する在宅看護技術			講義・演習
5 回目	演習			講義
6 回目	おむつ交換、トランスファー、口腔ケア			演習
7 回目	認知機能のアセスメント			講義・グループワーク
8 回目	終末期のアセスメント、			講義・グループワーク
9 回目	疼痛緩和のアセスメント			講義
10 回目	褥瘡のアセスメント尿道カテーテル、ストーマ			講義
11 回目	経管栄養、在宅中心静脈栄養法（HPN）			講義
12 回目	在宅酸素療法（HOT）			講義
13 回目	非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）、 在宅人工呼吸療法（HMV）、排痰法			講義 講義
14.5 回目 (45 分)	まとめ			講義
15 回目 (45 分)	終講試験			試験
教科書	ナーシンググラフィカ　在宅看護論①　地域療養を支えるケア（メディカ出版） ナーシンググラフィカ　在宅看護論②在宅療養を支える技術（メディカ出版）			
評価方法	筆記試験　（　1 時間【45 分間】：100 点　）			
備考				

科目	単位	時間	履修学年	講師名
在宅看護援助論Ⅱ	1	30	2	石野 君子
ねらい	在宅看護介入時期別の特徴について学び、事例を展開する。			
回数	授業内容			授業方法
1 回目	1.在宅看護介入時期別の特徴について			講義
2 回目	2.ケアマネジメントシステムについて			講義
3 回目	3.グループについての説明（疾患の理解を深める）			講義
4 回目	4.グループワーク			グループワーク
5 回目	疾患の理解			グループワーク
6 回目	退院前、現在の問題の抽出			グループワーク
7 回目	退院後の生活を考える 看護計画・立案			グループワーク
8 回目	まとめ			グループワーク
9 回目	発表用まとめ			グループワーク
10 回目	発表			グループワーク
11 回目	講評（45分間）			グループワーク
12 回目				グループワーク
13 回目				グループワーク
14 回目				グループワーク
14.5 回目 (45 分)				グループワーク
15 回目 (45 分)	終講試験			試験
教科書	ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア（メディカ出版） ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術（メディカ出版）			
評価方法	筆記試験 （ 1 時間【45 分間】：100 点 ）			
備考				